

養育費に関する申告書

※市町村名 釧路市

※受付年月日 令和 年 月 日

○ 前年（1月から12月までの1年間）に受け取った養育費について、裏面の記入要領に従って記入して下さい。

区 分	受取人	養育費の額	受 取 状 況
	母・児童	円	
	母・児童	円	
	母・児童	円	
	母・児童	円	
	母・児童	円	
合 計	母	円	
	児 童	円	

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名

印

- (注) 1. 上記の※の欄は、市の担当者が記入しますので、記入する必要がありません。
2. 記名・押印に代えて署名することができます。

養育費に関する申告書の記入要領

1. この申告書の目的・趣旨

- ・ この申告書は、前年に前夫から養育費を受け取っているのかどうか、さらに受け取っている額を確認するためのものです。

2. 養育費について

- ・ 前夫（児童扶養手当の支給対象となっている児童の父。以下同じ。）から前年（1月から12月までの1年間をいいます。ただし、1月から6月までの間に請求する方の場合には、前々年をいいます。）に、受給者（母）又は児童が受け取った金品その他経済的利益（以下「養育費」といいます。）がある場合には、その額を記入して下さい。
- ・ 養育費は、児童扶養手当法施行令第3条により、児童扶養手当制度における所得となりますので、正確に申告して下さい。
- ・ 養育費の合計額の欄に記入した額を、認定請求書の③①の欄又は現況届の養育費の⑭欄に記載して下さい。
- ・ 養育費として含まれるのは、具体的には別紙で定めるものです。
- ・ 前夫が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入して下さい。
また、区分欄には区別できるよう前夫の名前等を記入して下さい。前夫が1人の場合には、この区分欄は空欄で結構です。
- ・ 受取状況欄には、次の例に従って記入して下さい。

※ 記入例

- 例1 毎月5万円で12ヵ月間受け取っている場合には、
「月々5万円、12ヵ月分」と記入して下さい。
- 例2 4月、8月、12月の3回に、それぞれ1万円、3万円、5万円を受け取っている場合には、
「年3回 1万円、3万円、5万円」と記入して下さい。
- 例3 年に1回 受け取っている場合には、「年1回」と記入して下さい。